

地域交流科目による学生参画型実践教育 — 都市再生を目指す地域連携 — の取組み



フォーラム「都市再生をめざす地域連携」の様子

1 ● はじめに

経済活動がグローバル化する中で、実際の経済活動の場である都市地域それぞれがいかにかに活力を維持し、そこに生活する市民の生活の質を高めていくかが21世紀初頭の大きな課題となっています。このことは、近代化の中で分化しつつ発展してきた「工学」「経済学」「教育」などの学問・教育分野そのものの在り方が問われていることを示しており、また、地域に発生している様々な課題を把握し、解決策を見いだし、それを実行し、成果を評価するという最も基本的な姿勢や能力が改めて問われています。「都市再生」や「地域再生」といったキーワードはその端的な表れと言えます。

2 ● 横浜国立大学の新たな学生参画型教育プログラム

本学では、市町村(特別区を含む)と民間(企業、市民、NPO等)の連携(Public-Private- Partnership: PPP)を基に、学生参画型の教育プログラムを展開する事業を展開しています。この事業は、従来の学問・教育領域を超えて新たに『地域交流科目』を構築することで、地元自治体や企業で活躍できるような地域の課題解決を担う人材を実践的に育てることを目的としたもので、その特色は以下の5つです。

- ① 従来の教育分野・教育方法を超えた『地域交流科目』により新たな人材を生み出す。
- ② 課題把握—解決策構築—実行—評価という基礎能力を実践的に身につける。
- ③ 地域の企業や市民と連携した教育を行う。
- ④ 横浜地域の現代的課題解決をテーマとする。
- ⑤ 中長期的に地域活性化に貢献する。

3 ● 『地域交流科目』の内容と教育プログラムの概要

(1) 『地域交流科目』のしくみ(下図参照)

- ① コア科目: 従来の分野を超えた新しい科目として工学部主導の前期(A)、経済学部主導の後期(B)に分けて開

講し、自治体、NPO、専門家、企業等がゲストスピーカーとなって行う授業です。

② 関連科目: 学内での既存の教養教育科目・各学部専門科目のうち本事業に関連する全16科目を、学部を越えて受講可能な全学開放科目とします。

③ 地域課題プロジェクト: 教員と学生で構成される地域課題プロジェクトには、カテゴリ(a)演習・設計・ゼミナール、カテゴリ(b)課外実習プロジェクト、カテゴリ(c)公募型プロジェクトの3つがあり、いずれかに参画・認定を受けることが、修了証取得のための要件となります。

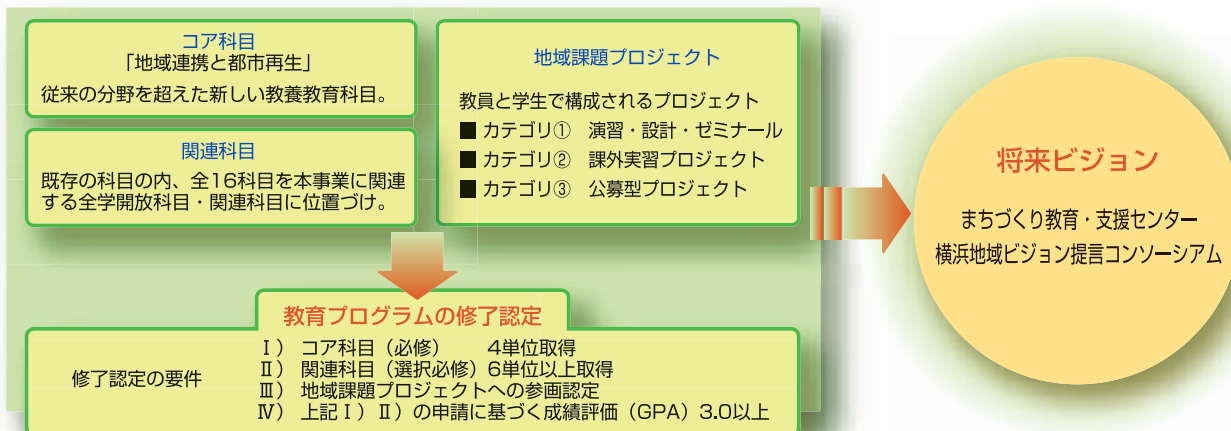
④ 教育プログラムの修了認定: プログラムの修了認定には、コア科目(必修)4単位取得+関連科目(選択必修)6単位以上取得+地域課題プロジェクトへの参画認定が必要で、更にGPA3.0以上の成績評価を課します。修了証は「YNU地域交流人材育成教育プログラム修了証(案)」 「地域交流科目成績一覧表」 「地域課題プロジェクト参画認定を受けたレポート等の提出物」で構成されるポートフォリオ形式になる予定です。

(2) 評価体制

平成16年度には学内に「地域交流プログラム実施委員会」を設置、本プログラム推進組織に学外の専門家が複数加わり、実行段階から内外の多様な視点をもって事業の促進に努めています。平成16年度末にフォーラムを行い、学外者による高い関心と評価を得ました(写真)。

4 ● プログラムの意義と今後への期待

本事業は、3年間で、展開期、評価・ステップアップ期を経て、事業終了時までには次のステップに向けた検討を行うこととしています。学部を越えて教育・実践・研究が有機的に連携しながら地域に貢献する本取り組みを通じて、これから社会を担う若い世代がチャレンジ精神で新しい時代を切り開く力を養ってくれることを期待します。



『地域交流科目』のしくみと将来ビジョン